

## 古屋拉致問題担当大臣記者会見要旨

日時：平成26年6月6日（金） 8:51～8:54

場所：中央合同庁舎第8号館5階共用会議室B

### 1. 発言要旨

御苦労様でございます。

私から特に報告することはございませんが、1件、閣僚懇で農林水産大臣から、「消費者の部屋」の特別展示、来週1週間されるそうです。今回は「食べるクジラをもっと身近に、簡単に！」というテーマだそうでありまして、食文化の普及、理解と、それから調査捕鯨の持つ意義ですね、クジラ資源の持続的な利用ということで、そういったものも展示して、あとは竜田揚げも試食できるという、そんな御紹介がございましたので、私も是非、来週1週間やっているそうですので、農水省に足を運んでみてみようかなと思います。

私からは以上です。

### 2. 質疑応答

（問）共同通信の松浦と申します。

先ほど外務省が伊原アジア大洋州局長の訪米を発表しました。北朝鮮問題についての協議が目的ということですがけれども、今回の訪米の意味と期待について教えていただけますか。

（答）まだ詳細報告は受けてませんが、いずれにしても、外務省が北朝鮮問題全般ですね、拉致、核、ミサイルということで議論するという事は、話は聞いてはおりました。また、オバマ大統領と総理が立ち話ですがけれども会談して、意見交換したと承っておりますから、その辺のフォローをされるんでしょう。しっかりやってきていただきたいと思っております。

（問）すみません、TBS丹羽と申します。

共同通信さんのインタビューに昨日までにソン・イルホ大使が答えられていて、特別調査委員会の設置について、責任を持って進めているというか、内部調整を始めているという内容だったんですけども、その立ち上げのスケジュール感ですとか、今のところ御報告とか何か。

（答）共同通信の報道は私も見まして承知しておりますが、あくまでも報道でございますので。我々は、官房長官が最初に会見したときも、だらだらやるもんじゃないと、1年ということをおっしゃられたけれども、だらだらやるもんじゃないということは、速やかにやる、という意味ですから、しっかり向こうもそれに呼応して、速やかな対応を始めているということじゃないでしょうか。

（以 上）